



NDCの歩き方

NDC guide book



部署名：

名前：

1

7,000,000,000



あなたは、地球上の人類のうちの1人です。

70億の人たちは、みんなそれぞれ違った人生を歩んでいます。

アジアで生まれた人たち、ヨーロッパで生まれた人たち、アメリカ大陸で生まれた人たち、アフリカ大陸で生まれた人たち・・・

みんなそれぞれの人生の岐路に立ったとき、運命に引きずられる人、伝統や風習によって人生が決められてしまう人、自分で人生の岐路を選択することができる人・・・それぞれです。

あなたは、自分で人生の岐路を決めることができる人なのです。どんな人生の岐路を選択したとしても、1本道ではありません。複雑な岐路に何度も遭遇し、選択し、挑戦しながら歩み続けるのが人生です。

そして、あなたが選択した岐路を、あなたが太く輝いた道に変えていって始めて納得した人生となるのではないのでしょうか。

70億分の1のあなた、今、挑戦してみてください。
自分の人生は、そこからの創造です。



ようこそ、
日本ビジネスデータプロセッシングセンターへ。



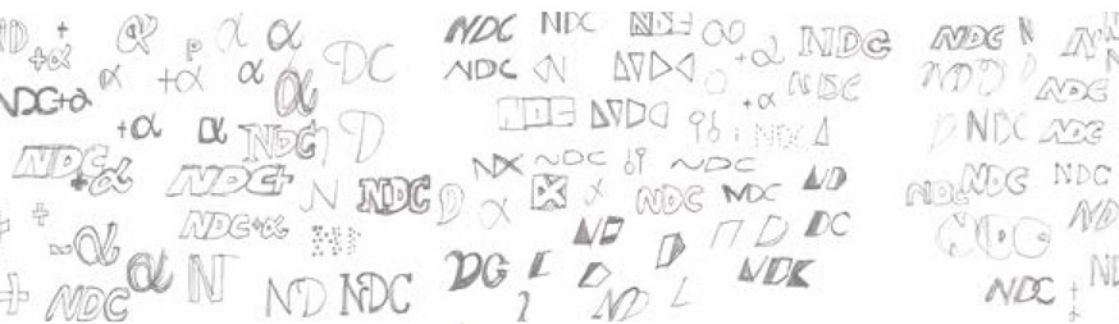
NDC は、物を造る会社ではありません。

大企業でもありません。

私たちは誠心誠意というサービスを提供し、
信頼という利益をいただいています。

いつ何時も、誠心誠意を忘れず、どんな仕事でも、
お客様の期待「+α」のものを提供しようと
心がけています。

「NDC+α」というロゴには、そういった
熱い思いが込められています。



ロゴへの想いを
社章に込めてるんだ



私たちは、
従業員の成長とともに、多彩な分野で、
最高のサービスと変革への挑戦を続け、
笑顔でつながる、喜びにあふれた未来を創造します。



経営理念（すべてに通じる企業の価値観）：

誠実謙虚

信頼創造

遊々精励

NDC Vision

笑顔でつなぐ仲間と未来

ビジョン実現のためのミッション

私たちはこのミッションを軸に“笑顔でつながる喜びにあふれた未来”を創造します。

従業員の成長

日本データーは
“従業員が成長できる会社”であることを第一とします。
従業員の成長と挑戦の喜びの先に、
お客様の期待を超えるサービスがあると考えます。

多彩な分野での事業展開

会社・組織・人、あらゆる方面のシナジーを強め、
その“つながり”を大切な推進力として、
既存事業の枠に収まらない事業展開を推進します。

最高のサービスの追求

お客様の共感とその先にある感動を呼ぶ、
一歩先を行くNDCならではの
“+α”のサービスを追求します。

変革への挑戦

一人一人の夢に向けた
積極的な挑戦を尊重します。

笑顔のつながり

私たちは“心の笑顔を保てる会社”であり続けます。
お客様やその先にいるサービス利用者、
従業員、そのご家族を巻き込んで
笑顔の連鎖を起こし、社会全体に影響を与えていきます。

喜びにあふれた未来

お客様に喜んでもらえてうれしい。
困難な状況を解決できてうれしい。
仕事が評価されてうれしい。
同僚が喜んでいてうれしい。
社会に貢献できてうれしい。



次のページからは
社員の行動指針を
詳しく説明するよ！

1 日本データーを 背負う責任を自覚せよ

●わたしは、日本データーを支える一員です

わたしたちの仕事は、社会に貢献できる価値あるものです。その一つひとつの作業を大切に、お客様が笑顔になれる最高のサービスを目指します。

●わたしの行動は、日本データーを代表する行動です

いつも会社の顔であることを忘れず、個と個の関係はもちろん、日本データーとお客様という関係を意識して責任ある行動をとります。

●誠実な対応と笑顔で、仕事を円滑にします

プロフェッショナルとして誇りを持ち、明るく元気に仕事に向かいます。



2 信頼され期待を超えろ

●仕事を確実にこなすことで、信頼を得てゆきます

わたし自身の成長や達成感を励みに、目の前の仕事を確実にこなし実績を積んでゆきます。時には振り返って見直ししながら、お客様に感謝され尊敬されるサービスを目指します。

●+αを実行していくことで、信頼関係を築きます

お客様の期待を超えられるよう、+αの付加価値を追求します。お客様の立場から今のままで最善かどうか、ニーズの先まで考え、良いと思ったことは提案して実行してゆきます。



3 誠実な心と 謙虚な姿勢で臨め

●すべては気持よいあいさつから

誠実で謙虚な態度は、あいさつから生まれます。笑顔のあいさつから一日をスタートさせ、一日の終わりには「おつかれさまです」のあいさつを習慣にします。

●相手を敬い、気持ちを引き締めます

お客様、上司・同僚・部下、日本データーでかかわったすべての人に尊敬の気持で接します。「相手の目を見てあいさつする」「先に返事をする」「敬語を正しく使う」「ねぎらいの言葉をかける」「時間やルールを守る」。これらを意識して、仕事に向かう心の姿勢を整えます。

●謙虚さを忘れず仕事に向かいます

等身大の自分として素直に発言し、相手の意見も素直に受けとめます。自分のできる部分は確実に実施し、できない部分は仲間の協力を得るようにします。



4 感謝の気持ちと 思いやりの心を持って

●感謝と思いやりは人間関係の要です

この社会は、たくさんの人の努力で成り立っています。すべての事柄に「感謝」「思いやり」の愛情を持って接してゆきます。

●ありがとうの言葉で、笑顔の輪が広がります

嬉しかったことや助けてもらったことには、相手へ「ありがとう」の言葉を伝え、仲間と喜びを共有し、感謝の輪を広めてゆきます。

●思いやりある行動で、支えあいの絆が強まります

お客様にはもちろん、チームで仕事をする上で礼儀・礼節を持って相手を敬い、相手の立場を思って行動します。



5 何のために何故やるかを 考えて動け

●仕事に目的意識を持ちます

何故そうするのか仕事の意味を考え、結果を想像して仕事に取り組みます。

●相手の目的と同じかどうか確認します

相手と認識が違ったまま仕事を進めると、大きな無駄につながります。理解しあえているかどうかをきちんとコミュニケーションして、わからないことは恥じないで相手に確認し、理解した上で仕事を進めてゆきます。

●経験を情報として仲間に伝えます

はっきり目的を持って行った仕事は、貴重な「情報」になります。経験を自分の中だけにとどめず、仲間に発信していくことを心がけます。



6 打つべき手を 打つべき時に打て

●満足向上のための準備をし続けます

「会社の利益＝お客様の喜びがお金に変わったもの」という原則を忘れず、お客様の満足向上に努めます。

●小さなことにも目を向け工夫します

お客様が笑顔になれるよう、日々の小さな改善や創意工夫を「計画」「実行」し続けます。

●タイミングをつかんだ最善の行動をとります

仕事の順序を理解することで、焦ることなく目的達成の好機がつかめます。素早く効果的な対応ができるよう、つねに準備をしておきます。

●協力体制をつくります

一人よりチームの力で目標を共有し、協力して行動を起こすよう心がけます。



7

チャレンジ精神で道を拓け

●仲間と協力してチャレンジします

何ごとも仲間と力をあわせることで成功に近づきます。仲間の意見や試みを否定しないで、自分も発言して話し合い、より良くなるよう一緒に考えて計画しチーム全員で挑みます。

●チャレンジは成長のチャンスです

失敗を恐れず、小さなことからでもチャレンジして成功を積み重ねる努力をします。失敗しても、その先に成功があります。

●チャレンジを評価しあいます

チャレンジのモチベーションになるのは、他の人からの評価や賞賛です。チャレンジする仲間を認め、みんなで評価し誉めあえる環境をつくってゆきます。



8 壁は作るな、仲間を助けよ

●仲間としっかり会話をします

共に働く人はみんな、仲間でありチームです。相手を知り、自分を知ってもらうよう積極的にコミュニケーションします。

●社内イベントでコミュニケーションをとります

多数開催されている社内イベントに、遠慮することなく積極的に参加し、コミュニケーションの場を広げます。

●すべての仲間に誠実に対応します

上司・部下の関係を越えて、自分が今できる最大限の対応を心がけます。手伝ってもらったことに対して、感謝の気持ちを忘れないようにします。

●お互いに助けあえる関係を保ちます

仲間と協力すれば、チームとして効率的でより良い仕事が達成できます。わたしが今できることは何かを考えて、困ったときはお互いに助けあいます。

●仲間と情報を共有します

多くの情報を持っていることで仕事が円滑に進みます。良い点も問題点もすべて仲間と共有できる機会を設け、プラス材料にするよう努めます。





8つの行動指針、
理解できたかな。
次は**行動四原則**を
教えるよ！

行動四原則

- 1、「大きな声で」
- 2、「きびきび行動」
- 3、「自分から挨拶」
- 4、「明るい笑顔」

毎日朝礼で心を込めて唱和しています。
気持ちのよい朝のスタートです。



?

あなたはどのページに
グッときましたか





こんな時にこの本を
開いてみてください。

- ・成績が上がりにません！ P.8
- ・あれ？飲み会に誘われない。 P.10
- ・最近やる気が出ない。。 P.11
- ・円滑に仕事が進まない！ P.14
- ・彼氏 or 彼女が出来ません！ 隣の人に聞いてみよう

その他の質問や疑問は、
先輩・上司にどんどん聞いてみましょう。



